

憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

NO.95 09.3.11 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

「海賊対処」派兵新法は憲法9条違反 JR和歌山駅前で9日宣伝行動

3月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。



3月に入って、曇り空でも寒さを余り感じない中、参加者はチラシを配りながら元気いっぱい通行人に署名への協力を呼びかけました。各団体から4人がマイクを握り、「来年度予算に、国民投票の準備費用47億円が計上されなど改憲勢力は改憲への準備を着々と進めている」「自衛隊がソマリア沖に出かけていって海賊対策をする動きがあるが、海賊対策は本来、警察力を持つ海上保安庁のしごと。今回の「海賊対処」派兵新法で、武器使用の緩和や他国の船の保護など、アメリカと一緒に海外で戦争する道を開くことをねらっている」「9条改憲も9条破壊もゆるさない世論を広げよう。」と訴えました。9人の行動で、憲法署名は1時間で54筆が集まりました。

新婦人和歌山市支部が独自の9日行動

新婦人の会和歌山市支部は9日午前、和歌山駅周辺のフードショップ前で署名、宣伝行動を行い、8人の参加で60筆の署名を集めました。「私も戦争体験があるので、戦争はもういやです」とか、「二度と戦争などのないように頑張ってください」など話してくれ、署名をしてくれた方もありました。

サクスを聴きながら、九条を語る 「和歌山県自治体関係者九条の会・結成総会」

2月28日、「一法(はしのり)さんのサクスを聴きながら、九条を語り合おう」と名づけた「和歌山県自治体関係者九条の会・結成総会」が、「梅の香り」に包まれるみなべ町の国民宿舎「紀州路・みなべ」で開催され、橋本から新宮まで県下各地の自治体関係者ら70人が参加。



総会は、第一部・各地の自治体関係の九条の会の結成や活動状況など、一通りのセレモニーのあと、第二部のオープニング演奏は、「人間が人間らしく生きるために」と題した講演にふさわしく「アメージング・グレース」。和歌山の自治体関係者とも馴染みの深い「宗教者九条の会」の一法真澄(はしのり・しんしょう=元大阪労連委員長)さんは、新自由主義の崩壊に揺れるアメリカの話のときは、「慕情」や「モーニン」を、米軍沖縄基地の不条理な話のときは「島唄」や「涙そうそう」。そしていま注目のラテンアメリカの政治変革の話では「コーヒールンバ」や「コモエスタ赤坂」など、趣向を凝らした演奏を披露。大きな拍手に包まれました。また、一法(はしのり)さんは講演のなかで「九条の重み」について触れ、改憲派がよく使う「攻撃されたらどうするのか」という議論には「9条の存在自体が、この国に攻めて来にくいものになっている」「九条を持つ国を攻めたりすると、世界的な批難を浴びる」「だから、みんなが確信を持って九条を語ろう」とわかり易く解説しました。和歌山市から参加した若い現役の自治体職員は「ユニークで、それでも参加者の心に響く結成総会ですね」と話していました。

(発信=保田)

2月15日と3月8日の署名宣伝行動で112筆 海南・海草

2月15日(日)と3月8日(日)に署名宣伝行動を行いました。2月の行動の参加者は9名、3月の行動の参加者は6名で日方の千原・芦原地区を訪問し、署名への協力をお願いしました。署名は112筆集めることができました。2月の行動では事前に9条の会わかやまのパンフレット、署名用紙とビラを訪問する地域に配布しました。訪問した場所によって留守のお家が多いところと少ないところがあり、グループにより集めることのできた署名数が違いましたが、今回も書いて待っていてくれた方や話を聞いて協力してくれる方など、回っていてうれしく思いました。

3月の行動で訪問した地域では高齢の方の一人暮らしのお家も多く、生活の大変さも感じられました。対面して署名のお願いをできたところでは賛同してくれる方が圧倒的で、署名ができませんという人は本当に少数です。

「寒かったけど、元気が出た」 全県一斉憲法署名統一行動に高教組第2支部が34名

1月18日(日)の憲法署名全県総行動で、第2支部からは、34名(和歌山市楠見地区10名、雑賀地区13名、海南海草地域10名、JR和歌山駅前1名)が参加しました。そのうち雑賀地区の行動を紹介します。

午前10時、星林高校前高津公園に集合し、A~Jの10のグループに分かれ、2~3人一組で地図を片手に地域へ入りました。1軒1軒訪問して対話し、署名を書いてもらいました。休日の朝なので、多少の遠慮もありますが、勇気を出してインターホンを押します。ピンポーン♪……「お休みのところすみません……」「私たち雑賀九条の会の者で、高校の教員なんです……」「今、戦争放棄のことを書いてある憲法九条が変えられようとしていまして……」「とにかく戦争に反対する署名なんです……」「できればご家族の方のお名前も一緒に書いていただけませんか……」などと、1軒1軒回りました。快く応じてくれる方、留守宅、話し込んだ末に断られるケースなどさまざまですが、軒数を重ねるうちにだんだんと慣れてきました。参加したみなさんからは「事前ビラは効果的で待っていてくれる家庭もあった」「九条の会に入会してくれた人が2名いた」「協力的な年輩の人が、健康だったらいっしょに回りたいと言ってくれた」などの声が寄せられました。「教え子を再び戦場に送らない!」の決意のもと、2009年は「9の年宣伝」を行うぐらいの意気込みで、がんばりましょう!(大野)

「田母神問題・ソマリア沖への自衛隊派兵を考える」学習会 主催 安保県民会議・憲法会議・平和委員会

3月18日(水)午後6時30分~ (午後6時~6時15分 憲法会議臨時総会)

会場 和歌山市勤労者総合センター6階ホール

講師 内藤 功弁護士(元参議院議員・日本平和委員会代表理事)